

## タイの朝の風景

日本語パートナーズ タイ5期 河合幸子

私は日本語パートナーズとして5月15日からタイのサムットプラカーン県のバンブリーラートバムルン校に來ています。サムットプラカーンはバンコクの隣の県で、スワナプーム空港はこの県にあります。ちょっと東京の隣県、埼玉と似ていますね。3,000人ほどの中高一貫校です。

タイの日本語専攻の高校生に通学時間について聞き取りしたところ、10分から1時間かけて登校してきます。どんな交通手段を用いて登校してくると思いますか？東南アジアを旅行したことがある人は、ソンテウを見たことがありますか。ここタイでも小回りの効くソンテウやバイクタクシーが通学にも使われています。ソンテウに乗る時は道が空くと猛スピードで走るの両足を踏ん張って乗っててくださいね。

暑い国タイならではの、窓が腰の部分まで大きく開いています。スピードに負けないよう、しがみつきの涼しさがたまりません。

渋滞しがちな道路を縫うように走るバイクタクシーも通学に使われています。もちろん家族がバイクで送る家もあります。3人ほど重なり合ってバイクに乗って登校する生徒発見！途中で合流したのでしょうか。

日本の高校ではバイク通学は禁止だと思うのですが、ここタイの学校では許可されています。もっとも高価なのでバイク登校は少ないと思います。



ソンテウ



バイクタクシー

登校してきた生徒は IC チップの入っている学生カードを機械にかざして登校終了！経済発展に伴う IT 産業は日本より浸透しています。お年寄りから中高生までスマホを持ち、情報通です。ショッピングモールにスマホの店は多くあり、いつも人だかりが絶えません。反面、インフラは追いついていないように思います。

私は朝 7 時頃学校に着きます。もう大部分の生徒たちは登校して、3,000 人の胃袋を満たす食堂（13 軒ほどの出店）は朝食を食べる生徒たちで大盛況です。

外国語職員室の職員 13 人（私を除く）も朝食はテイクアウトしたものを職員室で食べています。ほとんどの生徒たちは朝、昼、間食を学校で食べます。台所が付いてないアパートが普通なので、町ではビニル袋に入った夕食を持ち帰る人を見かけます。作る人、食べる人の分化が進んでいます。いつも、どこかで誰かが食べています。共働き家庭の多いタイでは家族が揃って食事をするのではないようです。



朝の学校の食堂